

<北九州市教育の目標>

思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

一人一人に「生きる力」を育む学校教育の創造

<学校教育目標>

共に学び合い、心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成

<目指す子ども像>

思いやりのある子

進んで学ぶ子

たくましい子

心豊かに、支え合う子ども

- 気持ちのよいあいさつができる子
- 仲良く、助け合い、協力する子
- 友達や物を大切に使う子

自ら考え、共に学び合う子ども

- 学ぶ意欲をもつ子
- 基礎基本の学力を身につける子
- 自ら考え、判断し、表現する子

元気で明るく、よく働く子ども

- 運動に親しむ子
- 正しい食生活を実行する子
- 健康・安全に気を付ける子

<本年度の取組の重点>

- ◆ 確かな人権感覚を育む人権教育の充実
  - ・ 人権・同和教育をはじめとする様々な人権に関する課題解決に向けての取組（人権カリキュラムの実践等）
- ◆ 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進
- ◆ 学校支援地域本部事業の推進（中学校区事業）
  - ・ 計画的な地域の人材活用及び北九州市立大学との連携
- ◆ 確かな学力の向上を図る指導の充実
  - ・ 毎時間の授業の充実、補充学習の取組、学びの約束等
- ◆ 基本的な生活習慣の向上や望ましい集団づくりの推進
  - ・ あいさつ運動、掃除（黙働）、時間を守る指導等
  - ・ 特別活動（学級活動、たてわり活動等）の推進
- ◆ 健康で活力ある生活を送るための体力向上の推進
- ◆ 業務改善の推進（定時退校日、学校行事等の見直し等）

<目指す学校像>

- ◎ 規律ある落ち着いた学校
- ◎ 確かな学力・体力の定着を目指す学校
- ◎ 保護者や地域と連携し、開かれた学校
- ◎ 一人一人を大切に、共に伸びていく学校
- ◎ 組織としての力を発揮する学校

<目指す教職員像>

- ◎ 学校生活のきまりを守り、学習規律を整える教職員
- ◎ 使命感をもち、自己研鑽に努め、授業力向上を目指す教職員
- ◎ 保護者や地域と連携を惜しまない教職員
- ◎ 豊かな人間性をもち、実践的指導力に優れた教職員
- ◎ 報告・連絡・相談を適切に行い、組織で対応する教職員

<具体的方策>

心を育てる

個を伸ばし、学級・学年集団づくりを充実する

基本的な生活習慣を大切にする

- 自尊感情を高め、人権・同和教育や人権意識を高める学習活動の充実を図る。
  - 保護者・地域との連携を図った人権・同和教育を推進する。
  - 人権・同和にかかわる身近な課題について共に考え、互いに支え、意識を高め合う学級集団づくりに努める。
- 個々のニーズに応じた合理的配慮を含めた特別支援教育の充実を図る。
  - 児童の実態把握と保護者や専門機関との連携を図るため、必要に応じてケース会議を行う。また、交流教育の推進を図る。
  - 自己を見つめ、他者との「違い」を認める指導に取組み、互いを理解し尊重し合う指導の充実を図る。
- 学校支援地域本部事業の推進<文科省モデル事業・北九州市事業9年次>
  - 学校の教育活動を支援するため、地域住民の学校支援ボランティア等への参加を積極的に推奨する。
  - <地域につくられた学校の応援団・北九州市立大学生による指導補助>→大学生が活躍できる場の設定を工夫する。
- 職員研修の充実を図り、教師の指導力や専門性を高め合う。(OJTの充実)
  - 指導法の工夫・改善を図り、授業力を高め合う校内研修の機会を充実する。(言語活動の充実、学び合う授業)
  - 「わかる授業」づくり5つのポイントや授業改善シート等を意識・活用した授業づくりに取り組む。
  - 基礎・基本を徹底するために朝自習や補充学習(パワーアップタイム)を充実させるとともに、授業時間の計画的・効率的活用の工夫、CRT等の学力テストのデータを生かした指導の工夫と改善を行う。
  - 少人数指導及び専科指導、T・T等の工夫による多様な学習活動を展開し、個に応じたきめ細かな指導に取り組む。
  - 子ども自身が自己や友達のよさを認め合い、感動する心を育てる教育を重視する。
  - 桜丘小学校「学びの約束」を意識させ、学習規律を日常的に育てる指導を行う。
- 子どもが生き生きと学び合い、共に高め合う教育活動を展開する。
  - スクールプランの活用を図り、子どもの変容を認め、さらなる目標をもたせることで自尊感情を育む。
  - 係活動・たてわり活動(掃除、給食等)を充実し、学校のために働く活動(高学年のリーダーシップの育成)を重視することで自主性を育て、責任感や達成感を味わわせる。3年生をフロアリーダーとして育成。
- 学校での授業の充実と運動習慣の確立で体力向上を目指す。
  - 体育・保健体育の充実を図るとともに、「1校1取組」の継続的な指導を行う。
- 開かれた学級・学年経営で子ども理解を深め、教師や職員の協働意識を高める。
  - 「全児童を全職員で育てる」という意識に立ち、開かれた学級のもと合同授業・交流給食等の多様な展開を工夫する。
  - 学校での基本的な生活習慣(あいさつ、言葉づかい、休み時間の過ごし方、教室移動、職員室への出入り等)の共通理解を図り、全職員で繰り返し指導することで徹底する。
- ふるさと意識やシビックプライドを育てるために地域社会との連携を深める。
  - 地域の教材(人・もの・こと)を生かした教育活動の充実と地域行事やPTA行事等に積極的に参加する。
  - 学校支援地域本部事業を通じた地域との関わりを大切に、地域に対する誇りと愛情を育てる。
- 学校安全態勢づくりに努め、子どもの安全を守る。
  - PTAや地域と連携した登校指導や交通安全指導の充実を図る。
  - 「不法侵入防止」「自然災害」等に備えた校内対応の徹底とスクールサポーターをはじめ、保護者や地域住民との連携による協力体制の確立及び児童への安全意識の啓発と防犯指導の充実を図る。
- 危機管理意識を大切にした積極的な生徒指導を行う。
  - 学習や生活の中の子どものサインを見逃さずに、早期発見・早期対応、先手の対応に心がけ、報告・連絡・相談を常に心がける。(保護者対応も同様) ※③いあくの事態、①んちように、④ばやく、⑤いいをもって、②しきで動く。

- ◆ 勤務の態様に応じて適切な処理(届出、許可、報告、連絡、相談等)をする。→校務支援システムの活用
- ◆ 下校時は、各人が担当する教室、廊下等の戸締りをきちんとする。(全職員で協力する。→複数の眼)
- ◆ 全体の奉仕者という立場。保護者や地域の方等に対して誠実な対応に努める。(来校者への温かいマナー)
  - ※防犯の立場等からも名札の着用を行う。(特に学校行事や対外的な行事では着用する。)
- ◆ 外部からの電話等による児童の呼び出しや照会には原則として応じない。(迷ったら管理職に一報する→母子寮)
  - ※電話の対応…「桜丘小学校の〇〇です。」→説明責任と信頼関係を大切にする。
- ◆ ①職務上知り得た秘密は、外部に漏らさない。②学校の事務処理は、正確さと提出期限の厳守に心がける。③職員室(机上も)は、常に清潔にし、すがすがしい環境にしておく。④不祥事防止(体罰、セクハラ等)を全職員で徹底する。⑤児童・職員も時間を守る。⑥学習指導計画書等の提出は定期的に行う。⑦児童の様子にいつもアンテナを高く立て、指導を行う。⑧我々自身の人権感覚を磨く。⑨朝の時間帯で遅刻・欠席等の連絡を確認する。
- ◆ ワーク・ライフ・バランス…健康管理、仕事以外の時間の充実、家族との時間の充実を。
  - ※定時退校日…月2回設定 →仕事の振分